

土石防だより



烈風共演（沼津市）

年頭の御挨拶	2
2017年しずおかの砂防10大ニュース	
平成30年度 政府予算案閣議決定	3
全国治水砂防促進大会及び支部要望活動	4
市町長等砂防関係事業県外視察	5
市町等砂防担当職員現場研修	6
治山・砂防事業推進議員連盟の県外視察	
平成29年土砂災害の発生状況	7
土砂災害防止講習会と土砂災害出前講座の開催	8
「上田町地区(湖西市)」の特定利用斜面保全事業に本格着工 わがまち(伊豆の国市・南伊豆町)	9
インフォメーション	10
お知らせ	12

速報 平成30年度 政府予算案閣議決定

特集 全国治水砂防促進大会
及び支部要望活動
市町長等砂防関係事業県外視察
市町等砂防担当職員研修

総括 平成29年 土砂災害の発生状況

全国治水砂防協会静岡県支部

年頭の御挨拶



全国治水砂防協会静岡県支部
支部長 原田 英之

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

会員の皆様には、日頃から当支部の活動に対しまして、御支援と御協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

昨年は、全国で約1,400件と多くの土砂災害が発生し、残念ながら21名の尊い命が犠牲となっております。特に、7月の九州北部豪雨では、福岡県を中心に約300件の土砂災害が発生し、大量の流木を含んだ土石流やがけ崩れなどで死者20名、住宅の全壊99戸と甚大な被害となりました。

本県では、幸いなことに人的な被害は無かったものの、4月の豪雨をはじめ、台風21号などにより、48件の土砂災害が発生しました。県では、今後の豪雨で被害の拡大が危惧される土石流災害2箇所において、災害関連緊急事業等により砂防堰堤の整備に着手しています。その他の箇所についても、市町や関係機関と調整を図り、早期の安全対策が進められております。

近年は、地球温暖化の影響と思われる記録的な豪雨が頻発しており、また南海トラフ巨大地震の発生が危惧されるなど、土砂災害に対する備えが急務となっております。

このため、県では、「土砂災害による死者数0人」を目指し、土砂災害防止施設の整備を着実に進めるとともに、警戒避難体制の整備を図るため土砂災害警戒区域等の指定を推進するなど、ハード・ソフト一体となった総合的な土砂災害対策に取り組んでおります。

市・町におかれましても、頻発化・激甚化する土砂災害から地域住民の生命を守るため、砂防関係事業の促進を図るとともに、日頃から災害に対する防災知識の普及に努め、住民の早期避難に繋がる適時適切な防災情報の伝達や防災訓練の実施など、警戒避難体制の充実・強化を図っていくことが重要であります。

今年も引き続き県と連携し、地域の安全・安心を確保できるよう砂防関係事業の普及・発展に努めてまいりますので、会員の皆様におかれましても、より一層の御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、今年も平穏な年であるよう祈念して、年頭の御挨拶とさせていただきます。

2017年しずおかの砂防 10 大ニュース

本年発生土石流災害で緊急事業を2件着手

平成29年発生土石流災害のうち、規模が大きかった土石流災害の2件(「高馬上沢(下田市)」、「石脇沢(伊東市)」)で災害関連緊急砂防事業等により、砂防堰堤の整備に着手しています。

全国地すべりがけ崩れ対策協議会研究発表会が開催!

10月19日(木)~20日(金)、静岡市内で全国地すべりがけ崩れ対策協議会研究発表会が開催され、全国から110名が参加しました。

市町長等砂防関係事業 県外視察を北海道で実施

8月24日(木)~26日(土)、静岡県支部の市町長等砂防関係事業県外視察を北海道(札幌市・夕張市)で実施し、市町長14名が参加しました。



土砂災害防止「全国の集い」in 愛知で、 「丸子芹が谷町自主防災会」が 土砂災害防止功労者に表彰!

6月1日(木)~2日(金)、平成29年度(第34回)土砂災害防止「全国の集い」in 愛知で、「丸子芹が谷町自治会自主防災会」が土砂災害防止功労者に表彰されました。



土砂災害警戒情報等を情報収集する 実践的な市町等担当職員 研修を実施

6月28日(水)、土砂災害警戒情報等を情報収集する実践的な市町等担当職員研修を静岡気象台職員と共同で実施しました。



平成30年度 政府予算案閣議決定

速報

平成29年12月22日(金)、平成30年度政府予算案が閣議決定されました。国土交通省の行政経費等を含む予算額は、国費ベースで対前年度比1.00の約5兆8,047億円です。予算のポイントの内、砂防関係事業に関するものを示します。

(単位：億円)

事 項	平成30年度 (A)	平成29年度 (B)	対前年度倍率 (A/B)
水管理・国土保全局関係予算	8,014	8,009	1.00
治水事業等関係費	7,961	7,956	1.00
河川関係	6,773	6,768	1.00
砂防関係	1,048	1,048	1.00
海岸関係	140	140	1.00
下水道事業関係費	54	54	1.00
社会資本総合整備	20,003	19,997	1.00
うち防災・安全交付金	11,117	11,057	1.01
その他(道路・港湾等)	30,030	29,940	1.00
国土交通省関係予算国費 合計	58,047	57,946	1.00

- ※沖縄振興予算の
国土交通省関係分を含む。
- 本表のほか、
以下のものがある。
(1) 受託者の負担に基づいて
行う附帯・受託工事費
821 億円
(2) 復旧・復興事業(東日本
大震災復興特別会計)
4,564 億円
- 計数は、整理の結果
異動することがある。

砂防関係事業における主要項目

「平成30年度予算編成の基本方針」を踏まえ、防災・減災対策、老朽化対策等への課題に対応するため、以下の項目に重点化を図る。

- 警戒避難体制の整備等と一体となった土砂災害防止施設の重点的整備の推進
- 流木等を確実に捕捉する砂防堰堤等の整備の推進
- 土砂災害警戒区域等の指定に向けた基礎調査の推進
- 要配慮者利用施設に関する警戒避難体制及び土砂災害対策の強化

砂防関係事業の新規要求事項等

- 災害関連地域防災がけ崩れ対策事業費補助の拡充
激甚災害発生時における市町村によるがけ崩れ災害への迅速な対応のため、保全対象が要配慮者利用施設等の公共的建物のみの場合についても、新たに災害関連地域防災がけ崩れ対策事業の補助対象に追加する。

砂防フェスティバル2017 が静岡市内で開催される

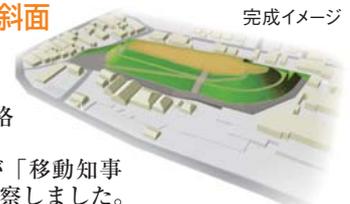
6月10日(土)、青葉シンボルロード(静岡市)で「みんなで防ごう土砂災害～砂防フェスティバル2017～」を開催しました。



「上田町地区」の特定利用斜面 保全事業に本格着工

「上田町地区(湖西市)」の特定利用斜面保全事業に本格着工しました。

10月16日(月)、川勝知事が「移動知事室」で施工中の「命山」を視察しました。



「土砂災害・全国防災訓練」 が全市町で実施される

6月4日(日)、全国統一実施日を中心に「土砂災害・全国防災訓練」を県内全市町で実施しました。



番
外

7月九州北部豪雨をはじめ全国で
1,424件の土砂災害が発生

「中小河川緊急治水対策プロジェクト」が
公表される

全国で流木捕捉効果の高い透過型砂防堰堤等の整備を推進

砂防会館本館建替が平成30年4月の
完成見込み

本県の平成29年発生土砂災害は48件と例年並

県9月補正予算で九州北部豪雨を踏まえた
砂防施設の緊急の防災対策として2億円を実施

※順番、枠の大小、写真の有無などについては、
ニュースの大小を表していません。

「全国治水砂防促進大会」開催される

11月28日(火)に、全国治水砂防促進大会が砂防会館で開催されました。

全国から約1,100名が参加し、当支部からも11名が出席しました。大会に先立ち、平井伸治鳥取県知事から「地域づくりは防災から」と題した特別講演が行われました。

大会は、綿貫民輔会長の挨拶、牧野たかお国土交通副大臣からの祝辞に続き、国土交通省栗原淳一砂防部長から「これからの砂防」と題した講演をいただきました。その後、会員代表として、田中幹夫富山県南砺市長と原田啓介大分県日田市市長から意見発表が行われました。

次に、宮城県蔵王町長である村上英人副会長から大会提言について説明がなされ、満場一致で採択されました。

大会終了後、地元選出国會議員及び国土交通省へ、平成30年度予算確保に向けて要望活動を行いました。

お忙しい中、御出席いただきました会員の皆様には心より御礼申し上げます。



静岡県支部の要望

1. 直轄砂防事業の推進

- 富士山砂防事業：富士山麓の砂防事業
富士山火山噴火緊急減災対策砂防計画に対応する事業の直轄化
- 安倍川砂防事業：大谷山腹工、有東木地区砂防堰堤工群
- 狩野川砂防事業：市山地区砂防堰堤群、鹿群山砂防堰堤

2. 直轄地すべり対策事業の推進

- 由比地区直轄地すべり対策事業：深礎杭、排水トンネル

3. 県による土砂災害防止施設(砂防、地すべり対策、急傾斜地崩壊対策)の整備とソフト対策の推進への支援・協力

- 避難所や要配慮者利用施設、重要交通網等の防災上重要な施設を保全する土砂災害対策の推進
- 土砂災害が発生した地域における、集中的な防災・減災対策の推進
- 砂防関係施設の長寿命化対策の推進
- 市町が行う警戒避難体制づくりや災害に強いまちづくりの基礎となる、土砂災害防止法に基づく土砂災害警戒区域等の指定の推進
- 国・都道府県・市町が連携し、安全で迅速な避難のための取組の推進



綿貫会長の挨拶



牧野副大臣の祝辞



栗原砂防部長の講演



平井鳥取県知事の特別講演

参加市町

伊豆市、川根本町、東伊豆町、静岡市、浜松市、三島市、富士宮市、伊東市、袋井市、伊豆の国市、小山町 (11市町/35市町)

※太字は本人参加

北海道の砂防関係事業等を視察

8月24日(木)から26日(土)に、会員(市町長)による砂防関係事業等県外視察として北海道(札幌市・夕張市)を訪れました。原田支部長(袋井市長)を団長に、市町長が計14名、県の鈴木交通基盤部長や土木事務所長、事務局を含め22名が参加しました。

県外視察は、当協会が毎年実施している事業で、会員が土砂災害の被災箇所や砂防関係事業先進地などを視察し、土砂災害に関する見識や砂防関係事業への理解を深めることを目的とするものです。

札幌市では、「山の手2の沢川砂防堰堤」や「北海道庁旧本庁舎」、「市民防災センター」などを視察しました。「山の手2の沢川砂防堰堤」は、要配慮者利用施設を保全し、現場発生土を活用する新工法のINSEM・ダブルウォールが採用されていました。

夕張市では、鈴木夕張市長から財政再建について説明をいただき、意見交換を行いました。財政再建の取り組みとしては、小・中・高等学校等の統廃合や休校施設の再利用、市営住宅の集約化によるコンパクトシティ化などが進められています。また、全国の市町から職員の派遣があり、本県ではこれまで浜松市と裾野市から支援の実績があります。

参加された皆様から「今後の市政運営の参考になった」、「大変有意義であった。来年もこのような視察に参加したい」とのご意見をいただきました。



要配慮者利用施設を保全する「山の手2の沢川砂防堰堤(札幌市)」

日程

- 8月24日(木) ・移動
- 8月25日(金) ・「石炭博物館(夕張市)」視察
 ・夕張市役所において
 財政再建の取り組み等について
 夕張市長と意見交換
 ・「山の手2の沢川砂防堰堤(札幌市)」視察
- 8月26日(土) ・「北海道庁旧本庁舎」視察
 ・「札幌市民防災センター」視察



札幌市民防災センター

参加市町等

袋井市、富士宮市、伊豆市、河津町、川根本町、浜松市、牧之原市、東伊豆町、島田市、菊川市、松崎町、西伊豆町、函南町、森町 (14市町/35市町) ※全て市町長が参加
 交通基盤部長、下田・熱海・袋井・浜松土木事務所長
 砂防課(事務局)



財政再建中の夕張市長と意見交換

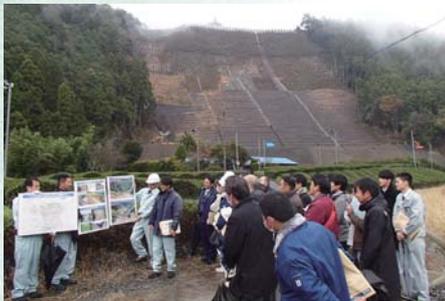
市町等砂防担当職員現場研修を開催

11月22日(水)に、市長等砂防担当職員現場研修を浜松市天竜区で開催しました。県内市町と県土木事務所の担当職員25名が参加し、土砂災害対策について学びました。

浜松土木事務所の鈴木天竜支局長の挨拶の後、「門島地すべり」と「丹谷沢砂防堰堤」、「禿石急傾斜地」の各工事現場で「土砂災害発生時の緊急対応」や「対策工事の計画・設計」、「現場管理のポイント（工夫した点、苦勞した点）」などの説明をいただき、意見交換を行いました。

平成25年4月に大規模な斜面崩壊が発生し、緊急の地すべり対策工事を実施した「門島地すべり」では、現在、来年度の完成を目指して堆積土砂の安定を図るよう木柵工と植栽工を進めています。研修では、住民からの茶畑の変状の通報から地すべりの監視、市と連携した警戒避難体制の整備と河川を埋没した斜面崩壊から仮排水路設置の突貫工事などの初動対応について理解をいただきました。

参加者からは、「市や住民等と連携した災害時の対応について参考になった」「実際に地質、地形を確認しながらの説明であったため、現場の苦勞も分かりやすかった」「事業の採択基準について理解ができた」などの感想が寄せられました。



現場研修の様子(門島地すべり)



現場研修の様子(丹谷沢砂防堰堤)

参加市町等

《市 町》

静岡市、浜松市、焼津市、藤枝市
菊川市、牧之原市、吉田町

《土木事務所》

下田土木事務所、熱海土木事務所
島田土木事務所、浜松土木事務所

治山・砂防事業推進議員連盟が 北海道の砂防関係事業を視察

9月21日(木)・22日(金)に、水と豊かな生活環境の創造と安心して暮せる社会基盤の整備を目標に、砂防関係事業の推進を目指す「静岡県議会治山・砂防事業推進議員連盟」の視察が北海道で行われました。

今回は、会員67名のうち14名が参加され、有珠山の火山砂防事業等を視察されました。

県内には、富士山や伊豆東部火山群の活火山があることから、議員の皆様は現場の状況を熱心に視察され、砂防事業の効果や火山噴火対策等に関する質問が多く出されるなど、火山噴火時の土砂災害対策等の重要性について再認識していただきました。



現場視察の様子(噴火遺構)



現場視察の様子(北海道庁職員の説明)

出席者名簿	
氏名	会派
杉山 盛雄	自民改革会議
山田 誠	
鳥澤 由克	
増田 亨大	
仁科喜世志	
鈴木 澄美	
良知 淳行	
宮城也寸志	
鈴木 洋佑	
田形 誠	
櫻町 宏毅	
中澤 通訓	
伴 卓	無所属
桜井 勝郎	

※議連役員・選挙区順

静岡県内土砂災害の発生状況

土砂災害は、降雨や地震などにより突然発生し、尊い生命や貴重な財産を一瞬にして奪うなど、地域に深刻な被害をもたらす恐ろしい自然災害です。本県では、近年人的被害は発生していないものの、年平均約50件の土砂災害が発生しています。

平成28年の発生件数は年平均を下回る18件でしたが、平成29年は48件(土石流5件、がけ崩れ43件)の土砂災害が発生し、1名の方が軽傷、住宅1部損壊等8戸の被害が生じました。

一方、「西本郷一丁目(下田市)」や「金谷本町南裏(島田市)」等、5件では既設の擁壁等が崩壊土砂や倒木をくい止め、人家への被害を未然に防ぐことができました。

平成29年 土砂災害の発生状況(国交省所管)

種別	年次	平成29年														静岡県	
	発生日	1月5日	4月8日	4月9日	4月11日	4月17日	4月18日	6月21日	6月26日	9月28日	10月23日	10月24日	10月25日	10月29日	10月30日		11月11日
	原因	不明	豪雨	豪雨	豪雨	豪雨	豪雨	豪雨	豪雨	豪雨	豪雨	台風21号	台風21号	台風21号	台風22号		台風22号
土石流等	発生件数						1			1	1				1	1	5
地すべり	発生件数																0
がけ崩れ	発生件数	1	1	2	2	1	19	7	1		6	1	1	1			43
	計	1	1	2	2	1	20	7	1	1	7	1	1	1	1	1	48
	内施設効果あり	0	0	0	0	0	2	1	0	0	1	0	1	0	0	0	5

いしわけざわ

土石流が発生した「石脇沢(伊東市)」で緊急的な砂防工事に着手

9月28日の豪雨により土石流が発生した伊東市石脇沢において、早急に再度災害を防止するため、国土交通省から技術的な助言を得て、緊急的な砂防工事に着手しました。今後、詳細設計や用地の取得等を早急に進め、砂防堰堤工の早期完成を目指します。

溪流名	設置種別	計画諸元	保全対象
石脇沢	砂防堰堤工	H=7.0m L=59.0m	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保全人家 6戸 ・ 市道 L=150m ・ 鉄道 L=188m



不安定土砂の堆積状況



土石流発生状況



砂防堰堤工
H=7.0m、L=59.0m

「土砂災害防止講習会」と「土砂災害出前講座」の開催

土砂災害による人的被害を未然に防止するためには、地域住民が日頃から身の回りの危険箇所や避難経路等を確認し、「日頃の備えと早めの避難」に心がけていただくことが重要です。

県では防災知識の普及として地域住民や自主防災組織の方々を対象にした「土砂災害防止講習会」や防災教育の一環として小中学生を対象にした「土砂災害出前講座」を実施しています。

「土砂災害出前講座」では、工事現場の見学会や学校の砂場で土石流のメカニズムの説明等を行い、参加した児童から「どうしてがけが崩れたの?」、「雨がたくさん降ると土砂災害が起こることがわかった」等の声が寄せられました。

今後も積極的に土砂災害防止に関する知識の普及を図ってまいります。



小河内町屋工事現場の様子(静岡土木事務所:静岡市)



出前講座の様子(袋井土木事務所:城北小学校)

■ H27年度～H29(11月末時点)講習会、出前講座実施回数

	H27年度	H28年度	H29年度(11月末)
講習会実施回数(受講者数)	47回(2,805名)	37回(2,480名)	26回(2,836名)
出前講座実施回数(受講者数)	5回(261名)	10回(435名)	8回(299名)

「上田町地区(湖西市)」の特定利用斜面保全事業に本格着工 川勝知事が「移動知事室」で視察

「上田町地区(湖西市)」では、急傾斜事業とあわせて、地山の斜面上部を切土し、避難地として造成する特定利用斜面保全事業を進めており、本年10月に本格着工しました。当地区で発生する土砂約4万5千㎡は、市内で計画している「住吉命山」と「浜名海岸命山・防潮堤地区」の津波対策事業で有効活用し、「がけ崩れ対策」と「避難場所の造成」、「発生土による盛土材の確保」を同時に行える“一挙三得”の計画としています。

10月16日(月)に、川勝知事が「移動知事室」で「上田町」と「住吉命山」を訪れました。知事は、住民の意見を聴くワークショップを重ねた上で着手した経緯を聞き、「住民が納得づくの形で進める。まさに静岡モデルだ」と語りました。



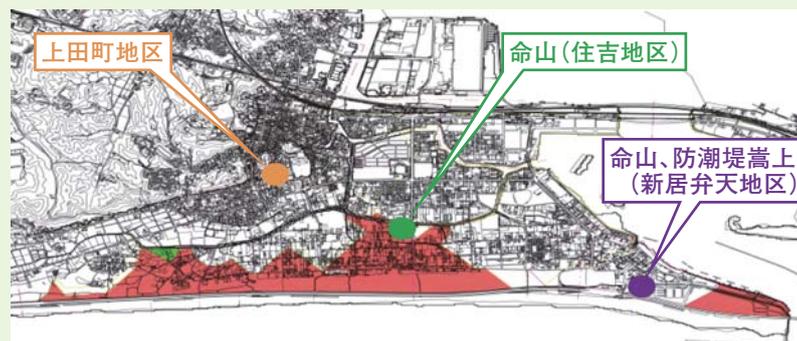
上田町地区
完成イメージ図



位置図



川勝知事が上田町地区を視察 左から影山湖西市長、川勝知事



湖西市提供資料

津波避難施設空白域(住吉地区、橋本地区、西浜名地区)



住吉命山の視察



伊豆の国市

建設課

伊豆の国市は、伊豆半島の北部、田方平野のほぼ中央に位置します。東は箱根山系の連山に、西は城山、葛城山などの山々に囲まれ豊かな自然環境を保っています。平野部には南北に鮎釣りので有名な狩野川が流れ、豊かな田園地帯が広がっています。

東京からは100km圏域にあり、東海道新幹線、東名・新東名高速道路を利用して2時間弱と首都圏からのアクセスも良く、静岡県東部の中心地にも近い交通の利便性に富んだ場所です。

市内には温泉観光地として名高い伊豆長岡温泉をはじめ、標高452mの葛城山山頂から駿河湾越しに富士山の絶景が楽しめる伊豆の国パノラマパーク、12月中旬からゴールデンウィークまで楽しめる江間イチゴ狩りセンター、東京ドーム3個分の敷地でミカン狩りが楽しめる小坂みかん共同農園など多くの観光スポットがあります。美しい自然景観やイチゴやミカン、スイカなどの豊かな食材にも恵まれ、年間280万人を超える観光交流客で賑わっています。



パノラマパーク展望デッキ



韮山反射炉

また、平成27年7月8日に世界文化遺産に登録された「明治日本の産業革命遺産製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の構成資産のひとつである韮山反射炉も見逃せません。昨年12月には日本の近代化の礎を築いた遺産としての意義や歴史など、普遍的価値を伝えるとともに広く発信する拠点として、韮山反射炉を未来に継承するために韮山反射炉ガイダンスセンターもオープンしました。

更に今年、東京国立博物館において開催された特別展「運慶」には伊豆の国市の願成就院所蔵の国宝「毘沙門天立像」が展示され、運慶展の中心的な役割を担っている仏像として絶賛されました。その他にも運慶諸仏、北条氏にまつわる史跡など、時代を代表する有形、無形の文化財が市内には数多く存在します。

皆様も是非一度、伊豆の国市へお越しください。

南伊豆町

地域整備課

南伊豆町は、伊豆半島の最南端に位置し、天城山脈より連なる山地を背にして、東側は下田市、西側を松崎町に接しております。東側の弓ヶ浜、最南端石廊崎、西側の波勝崎を結ぶ延長57.4kmの海岸線を有し、海岸線は富士箱根伊豆国立公園や名勝伊豆西南海岸に指定されており、迫力あるリアス式海岸美を誇る一大景勝地であります。

伊豆半島最南端の1kmにわたる白砂ビーチ「弓ヶ浜海水浴場」は、文字どおり弓形に弧を描く白砂青松の浜で、「日本の渚100選」にも選ばれた美しい海水浴場です。波も穏やかなので、楽しめます。

また、2月の時期になると、下賀茂温泉を流れる青野川沿いの早咲きの桜が開花し、桜のピンク、河川周辺には菜の花の黄色、温泉の白い湯煙と春陽気なコントラストが美しい風景をつくりだします。この期間には「みなみの桜と菜の花まつり」が実施され、露店が並んだり、週末イベントが開催されるなどして、多くのお客様で賑わいます。どうぞ一足早い花見をお楽しみください。



弓ヶ浜海水浴場



みなみの桜と菜の花まつり

事業評価監視委員会が開催される

11月2日(木)に、平成29年度第2回静岡県事業評価監視委員会(第1回：9月22日)が県庁で開催されました。砂防関係事業では、事後評価で砂防事業の「安良里坂本川(西伊豆町)」が審議され、「改善措置の必要性は特に認められない。」との意見がまとめられました。

また、再評価では、砂防事業で「安居山沢右支川(富士宮市)」、急傾斜地崩壊対策事業で「小浜アハラ(焼津市)」「大久保(沼津市)」の計3箇所が審議され、「いずれも事業を継続するのが相当である」との意見がまとめられました。

平成30年度は、事後評価で1件(地すべり1件)、再評価で12件(砂防3件、地すべり2件、急傾斜7件)が対象となる予定です。

第16回富士山火山砂防計画検討委員会が開催される

10月6日(金)に、富士市の富士市産業交流展示場「ふじさんめっせ」で火山や砂防の専門家、国土交通省、気象庁、静岡・山梨県の関係機関による「富士山火山砂防計画検討委員会」が開催されました。

今回の委員会では、「富士山火山噴火緊急減災対策砂防計画」の原案及び具体的な実施内容を取りまとめた緊急対策カルテ(案)を提示し、委員から助言を頂きました。



検討委員会の様子

ジオフォーラム2017 IN 静岡が開催される

10月13日(金)に、静岡県地質調査業協会主催(当支部後援)による「ジオフォーラム2017 IN 静岡」がしずぎんホール ユーフォニアで開催されました。今回は、新たな構造物を構築する際や防災に対する安全性を検討する上で重要な「地盤の安全性」をテーマに5つの技術発表が行われました。また、静岡県立科学技術高等学校の有志による土と取り組んだ事例発表や日経コンストラクションの野中編集長による「地質調査がもたらす建設工事への影響について」と題した特別講演があり盛大に開催されました。



協会会長のあいさつ



高校生による発表

全国地すべりがけ崩れ対策協議会研究発表会が開催される

10月19日(木)、20日(金)に、全国地すべりがけ崩れ対策協議会による平成29年度技術研修会並びに第71回研究発表大会を静岡県男女共同参画センター「あざれあ」で開催されました。国や各都道府県、市町の担当者110名が参加し、研究成果報告や事例発表等が行われました。

技術研修会では、国土交通省砂防部の石田課長補佐から「砂防行政に関する最近の話題」について講演が行われました。その後の研究発表大会では、全国の各ブロックの代表者等による「地すべり部門」と「急傾斜部門」の12件の発表があり、活発に質疑や意見交換が行われました。最後に、国土技術政策総合研究所の萬徳深層崩壊対策研究官より、各説明者に対し講評をいただき、大変有意義な研究発表大会となりました。



石田課長補佐の講演



本県の「上田町地区」の発表

東海地区土砂災害防止法担当者会議が開催される

10月27日(金)に、東海4県の土砂災害防止法担当者会議が静岡市内で開催されました。

会議は、土砂災害防止法の適切な運用を図るために、各県の取組や課題等を情報共有するもので、今年度は、6月の法改正に伴う要配慮者利用施設の避難確保計画作成の支援方法や土砂災害警戒情報の精度向上など、指定区域の警戒避難体制整備に関する取組を中心に活発な意見交換が行われました。



会議の状況

平成29年度 東海地区治水砂防協会支部長・砂防課長合同会議が開催される

11月13日(月)に、国土交通省浦保全課長と(一社)全国治水砂防協会岡本理事長を来賓に迎え、東海地区治水砂防協会支部長・砂防課長合同会議が名古屋市で開催されました。

浦保全課長からは「砂防行政に関する最近の話題」、岡本理事長からは「近年の災害からの教訓」と題した話題提供をいただくとともに、土砂災害対策における各支部の取組や課題について、各支部長との熱心な意見交換が行われ、大変有意義な会議となりました。



会議の状況

第2回伊豆東部火山群火山噴火緊急減災対策砂防計画検討会が開催される

11月20日(月)に、「第2回伊豆東部火山群火山噴火緊急減災対策砂防計画検討会」が熱海市の県総合庁舎で開催されました。今回の検討会は第1回検討会で決定した噴火シナリオを基に、噴火の影響範囲、被害の想定及び対策方針の設定について討議されました。今後は、平常時及び緊急時に実施する対策を検討し、平成30年度中に緊急減災対策砂防計画を策定される予定です。



検討会の状況

平成29年度 静岡県砂防・治山連絡調整会議が開催される

12月19日(火)に、砂防事業と治山事業が連携して効率的に事業を実施するため、砂防・治山連絡会議が県庁別館20階で開催されました。

会議には国土交通省中部地方整備局、静岡河川事務所、沼津河川国道事務所、富士砂防事務所、関東森林管理局、静岡森林管理署、伊豆森林管理署、天竜森林管理署、大井川治山センター、県砂防課、県森林保全課の担当者が出席し、来年度以降に事業実施を予定している箇所の事業調整が行われました。



会議の様子



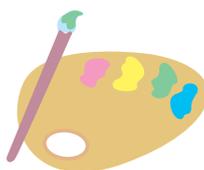
個別調整

お知らせコーナー

土砂災害防止に関する絵画・作文の応募をいただきありがとうございました

6月1日～9月15日の間、県内の小中学生の皆さんに土砂災害及びその防止についての理解と関心を深めていただくため、作品を募集したところ、多数の応募をいただきました。誠にありがとうございました。なお、入選発表及び表彰式は平成30年3月23日(金)を予定しています。

【応募状況】



部 門	小学生	中学生	計
絵 画	9	53	62
作 文	0	17	17
合 計	9	70	79

砂防および地すべり防止講習会のお知らせ

砂防および地すべり対策業務を担当する職員の実務並びに関連知識の習得を通じ、今後の円滑な業務の遂行に資するため、講習会が開催されます。

日 時：平成30年2月15日(木)・16日(金)
 会 場：砂防会館別館 シェーンバッハ・サボー 利根
 参 加 費：4,000円 (テキスト代2,000円、受講費2,000円)
 主 催：一般社団法人 全国治水砂防協会 TEL (03)3261-8386
 問合せ先：全国治水砂防協会静岡県支部 TEL (054)221-3042



平成30年 砂防関係の 主な行事



●支部活動予定

5月30日(水) 静岡県支部役員会および第73回通常総会(静岡市内)
 6月1日(金)～7日(木) かけ崩れ防災週間(県内各市町)
 1日(金)～30日(土) 土砂災害防止月間(県内各市町)
 1日(金)～30日(土) 急傾斜地パトロール(県内各市町)
 6月中 土砂災害・全国防災訓練(県内各市町)
 みんなで防ごう土砂災害(青葉シンボルロード)
 市町等砂防担当職員研修(静岡県内)
 市町長等砂防関係事業県外視察
 市町等砂防担当職員現場研修
 11月下旬 砂防関係事業促進要望(議員会館等)
 11月20日(火)

●協会本部活動予定

2月15日(木)・16日(金) 第58回砂防および地すべり防止講習会(砂防会館)
 5月23日(水) 評議員会・参与会(砂防会館)
 24日(木) 第82回通常総会(砂防会館)
 10月25日(木)・26日(金) 砂防現地視察と討論会(福岡県)
 11月19日(月) 参与会(砂防会館)
 20日(火) 全国治水砂防促進大会(砂防会館)



【表紙写真】

烈風共演(撮影地:沼津市)

鈴木 常雄さん(静岡県裾野市)

※砂防協会では表紙に掲載する静岡県内の写真を募集しています。皆様のご協力をお願い申し上げます。詳しくは、下記までお問い合わせ下さい。

編 集 ・ 後 ・ 記

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、九州北部豪雨被害により300件以上の土砂災害が発生し、尊い命や財産が奪われるという悲しい出来事がありました。自然災害の怖さ、恐ろしさを感じます。災害により被害に遭われた方々に、心よりお見舞い申し上げます。

年頭にあたり皆様方のご多幸を祈念しますとともに、本年も砂防だよりをご愛読していただきますよう、よろしく願いいたします。

砂防だよりは砂防課ホームページでご覧いただけます。 <http://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-350/index.html>